

カケハシ・プロジェクト招へいプログラムの記録 対象:大学生招へい第1陣(米国)

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」として、米国から大学生及び引率者 25 名が 2019 年 1 月 15 日~1 月 22 日の日程で来日し、日本の政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策などの対日理解促進を目的としたプログラムに参加しました。講義、視察、日本人との交流などを通じて幅広く日本を理解する機会を持ち、各々の関心事項や体験について SNS を通じて対外発信を行いました。また、帰国前の報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン(活動計画)について発表しました。

【参加国・人数】

米国: 25 名

【訪問地】

東京都, 愛知県

2. 日程

2. HIZ	
1/15(火)	【来日】
1/16(水)	【オリエンテーション】 【日本理解講義】アンドラディ久美氏 【文化体験】江戸東京博物館 【視察】明治神宮・原宿
1/17(木)	東京都から愛知県へ移動 【学校交流】名古屋外国語大学
1/18(金)	【視察】名古屋城・本丸御殿 【表敬訪問】名古屋市副市長 【講義】愛知県産業労働部 【ホームステイ対面式】
1/19(土)	【ホームステイ】
1/20(日)	【ホームステイ歓送会】 【ワークショップ(報告会準備)】
1/21(月)	愛知県から東京都へ移動 【視察】皇居 【成果報告会】
1/22(火)	【視察】浅草 浅草寺・仲見世 【離日】

3. プログラム記録写真



【視察】明治神宮

【文化体験】江戸東京博物館





【学校交流】名古屋外国語大学

【視察】名古屋城·本丸御殿





______ 【ホームステイ歓送会】

4. 参加者の感想(抜粋)

◆ 米国, 学生

東京で受けた日本理解の講義は大変面白く、講師の先生は私たちを楽しませながら、教えてくださいました。名古屋外国語大学の学生たちとの交流では、学生たちが私たちを本当に温かく迎え入れてくださり、とても楽しい思い出になりました。名古屋市副市長への表敬訪問も素晴らしい経験になりました。ホームステイも大変素晴らしかったです。おばあさんが作ってくださった料理は大変美味しく、盛り付けがとても美しかった

です。子供たちも可愛く、お父さん、お母さん、おばあさんの居る家に滞在させていただけて幸せでした。名古屋城は息を飲むほど美しく、ガイドの方からたくさんのことを教えていただきました。とても明るく魅力的なガイドさんでした。

◆ 米国. 学生

東京での日本理解講義では、とてもたくさんのことを学び、日本や日本の伝統に対する興味が増しました。名古屋外国語大学での交流では、日本の大学生の生活や、どのような課題に取り組んでいるかが分かり、非常に興味深かったです。大学では、茶道部の学生たちがお茶を点ててくださり、茶道体験ができたのも良い経験になりました。名古屋では、県庁、市役所の方たちとの対談や企業の博物館を訪問し、観光産業の促進がいかに大切かが分かりました。愛知県のような地方の県にとっては、経済を発展させるために旅行客を誘致し、特産品を売ることが必要であると感じました。ホームステイは本当に素晴らしい経験になりました。しきたり、食べ物、家族の在り方、伝統など日本の家庭の日常生活を学べる良い機会となりました。ホストファミリーのご家庭に滞在して美味しい食事をいただき、また、とても美しくて強固な建築物も見せていただき、素晴らしい経験ができたことに心から感謝いたします。

5. 受入れ側の感想

◆受入れ団体関係者

学生の方々に、愛知県の産業・観光をテーマに講演したのですが、講演を聞いている 彼らの反応が良く、私自身も楽しく講演することができました。学生の反応を生で感じることで、愛知のどのような産業や文化に海外の学生が興味をもっているのかを知る ことができたことがとても良かったです。

◆ホストファミリー

ホームステイを受け入れることで、日本のことを逆に知ることができています。 1月は、お正月、成人式などで着物を着る機会が多いため、着物を体験してもらいましたが、すごく気に入って下さり、苦しいと思うのですが2時間近くも着物を着て写真を撮ったり、散歩をしたりしました。二人ともとても良く似合っていて可愛かったです。

◆学校交流参加学生

名古屋について聞かれたときに、すぐに答えられなかったりして改めて自分ももっと 日本の都市や文化について勉強すべきだなと感じました。茶道は、普段自分たちもたし なまないことなので上手く説明することができませんでしたが、一緒に体験できて良か ったと思いました。

6. 参加者の対外発信

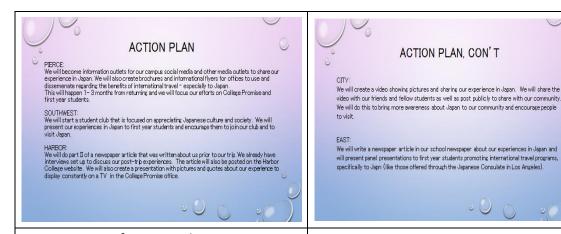


プログラムについての発信(Instagram) ホテルの窓から見えた東京の景色は,絶対 に忘れない。



プログラムについての発信(Instagram) 日本の食事は少しずつ色々なものが盛り 付けられていて、とてもきれい。

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表



アクション・プランの発表

今回, Los Angeles Community College District 内にある 9 つの Community College のうち, 5 大学の学生がプログラムに参加した。参加学生がそれぞれの大学ごとにチームとなり、日本での経験について情報発信を行う。

Pierce College:

キャンパスのソーシャルメディアを使って情報発信を行う。日本での経験を紹介する冊子も作る。

Southwest College:

日本の文化や社会を紹介する学生クラブ を作って情報を発信し、新入生を勧誘す る。 Harbor College:

学内新聞に日本での経験についての記事を投稿する。学内TVでも写真などを紹介する。

City College:

日本での経験を紹介するビデオを作成 し、学内だけでなく地域の人々にも日本 の良さを伝え、日本訪問を促進する。

East College:

学内新聞に日本での経験についての記事を投稿する。新入生を対象にパネルプレゼンテーションを行って、海外 (特に日本) 訪問プログラムへの参加の素晴らしさを伝える。